



# みどりの風

平成25年4月8日発行  
校報 第496号  
〔みどりの風 第39号〕  
練馬区立関町北小学校

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます

校長 大野 泰弘

暖かな春の陽ざしを受け、校庭のあちこちに春の草花が生き生きと咲き誇っております。平成25年度の関町北小学校の出発を共に祝ってくれているように感じられます。

お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。3月には115名の卒業生が喜びと希望を胸に抱いて本校を巣立ちましたが、今日は笑顔いっぱいの1年生86名と13名の転入生を迎え、全19学級、全校児童628名の子どもたちと共に、今年度の第一歩を飾ることができました。先週5日〔金〕には、最高学年としての初仕事をするために、新6年生の子どもたちも教室移動や入学式準備などにすすんで活動してくれました。

さて、今年度は別紙にもございますように、これまで本校の教育活動の充実のために努力してきた多くの教職員が定年退職・定期異動の時期を迎え、新しい任地に赴きました。そして、他校での豊かな経験をもった教員、高い志を抱いて教職に就いた教員、そして、学校を支えてくれる職員を多数迎えました。「人生は出会いと別れの連続である」とよく言われますが、関町北小学校で勤務することの縁を感じ、子どもたちのために努力していただけることを期待してやみません。

私が小学生のころ、京都市にある大徳寺大仙院を訪れた際、その庭園の枯山水にとても心が惹かれました。昨年何十年ぶりかで再訪する機会に恵まれたのですが、そこに尾関宗園閑栖の次の言葉が掲示されていました。

「今こそ出発点」

大徳寺大仙院 尾関宗園

人生とは毎日が訓練である

わたくし自身の訓練の場である

失敗もできる訓練の場である

生きていることを喜ぶ訓練の場である

今この幸せを喜ぶこともなく

いつどこで幸せになれるか

この喜びをもとに全力で進めよう

わたくし自身の将来は

今この瞬間にある

今ここで頑張らずにいつ頑張る

私自身は臨済宗の門徒ではありませんが、この尾関宗園閑栖の言葉には大いに励まされます。多くの教職員の退職・異動があった今年度の出発にあたり、「今こそ出発点」の思いを強くもち、「今ここで頑張らずにいつ頑張る」かを自問しながら、本校の教育実践の先頭に立ってまいりたいと考えています。今年度で、関町北小学校での3年目を迎えました。「石の上にも三年」と言われますが、この一年間もこれまでの本校の伝統や校風を大切にしながら、「心を開き、夢を育てる」ということを理念とし、この2年間に教育活動の指針としてきた「安心・安全・安定」、「継続・接続・創造」、そして、今年の「『Steady』(堅実に)・『Step』(前へ踏み出す)・『Satisfaction』(満足感)」をキーワードに、全力を尽くしてまいります。

東京都教育委員会言語能力向上推進校の2年目として、本校の学校経営計画の骨子である「開かれた関北・共生の関北・学びの関北・健康安全の関北・環境の関北・教師力&組織力の関北」に変更はありません。各学年の保護者会の折りに概要をお伝えいたしますが、今年度も引き続き、本校に通う子どもたちのために、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。